

す。(例) 求める音ド (264Hz) の倍場合ド[#]に合わせしておく。

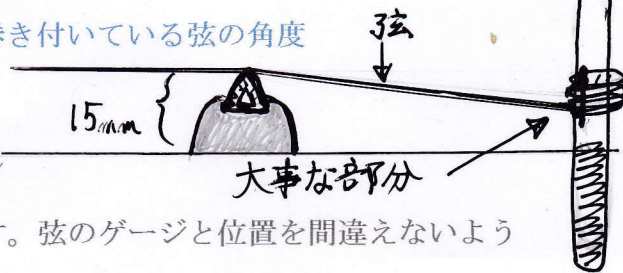
高音は、弦の張力も強くなるので求める音に近づけながら徐々に張力をかけていきます。1000Hz前後 (528Hzのドを超えラシド辺り) は1日で音合わせはできないと考えてください。2日かけるつもりで取り組んでください。(音合わせ1回目)

(湿度、温度、弦の質で伸長率が変わります)-

高音の弦011インチ~007インチの弦は切れやすいので、慎重に扱ってください。

ブリッジの高さとチューニングピンに巻き付いている弦の角度

上から見た図



6, ほかの弦も同様に取り付けていきます。弦のゲージと位置を間違えないように!

直径5mmのチューニングピンに弦が巻き付いています。弦がなじむまでに時間がかかります。1時間~置いて(音合わせ2回目)

時間の経過とともに巻き付けた弦はチューニングピンに段々馴染んできます。(音合わせ3回目)

♥真琴に弦の交換、音合わせ完了のご挨拶 (^_^)-☆○○○○○○○

※音程は2日ぐらいで安定ゾーンに入りますが、湿度と温度、環境により音に影響が出ますので必ず演奏前のチューニングが必要です!

※湿度と温度の高い条件では、楽器に負担がかかりますので、ヘンプコットンなどの素材の布で包んで保管してください。

※弦に錆が付きましたら、サンドペーパー1000番~3000番 (またはサンドラバー中目) で軽くこすって落とし、ギター弦用のオイルをティッシュに含ませ拭きます。

※音がくすんできましたら交換しましょう。

※真琴を守るお勧め素材

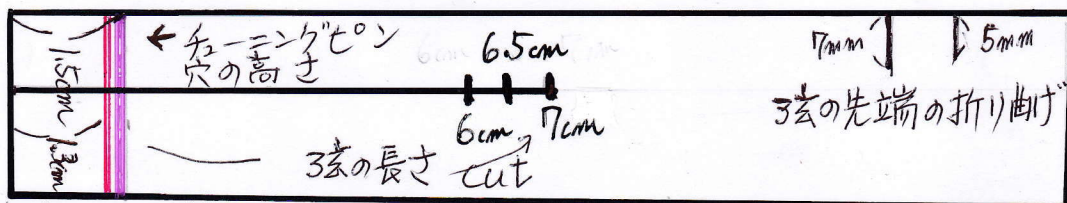
”ヘンプ” 抗菌性、防臭性、UVカット調質性に優れています

愛の周波数を奏でていきましょう♪

真琴のお世話よろしくお願いたします

<真琴企画> ホームページ makoto528.com

※切り取って厚紙に貼って使って下さい



4.501-011.3=J